教育区	勺容	専門分野 Ⅱ 成人看護学	時期 1年次	科目のねらい						
授業科目担当講師		成人看護学概論	単位 1単位	単位 ライフサイクルにおける成人期の特						
		富山 美加 看護師臨床経験:10年以上	時間数 30時間	する。成人期における健康の保持地する。成人保健の動向および看護の	曽進・疾病予防の	爰助と看護の役割を理				
		教育経験:7年以上 生命の尊厳と人権を守り、人々の多	 様な価値観を尊	 「重し、倫理的判断に基づいたヒューマ)	ンケアを実践する	ための豊かな人間性を				
+//.	1	<u>う</u>								
教育目	2	人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として捉え、環境との相互関係の中で、変化しながら生活する存在として理解でき能力を養う								
標	3	人々の健康上の課題に応じて、科学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を養う 保健・医療・福祉チームの一員として連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するための基础								
	4	保健・医療・偏位ナームの一員とし 能力を養う	て 連携・ 筋働し有	護を美践でさるとともに、国際化の動向	を踏まれて有護を	で 割迫するための基礎				
	П	項目		内容	教授法	関連科目				
	1	成人と生活	対象理解:大人 対象の生活	であること「各発達段階の特徴」	講義	基礎分野 心理学 哲学				
	2	成人各期の保健問題		犬沢「死因順位、部位別悪性新生物」 もりはぐくむシステム	講義演習	教育学 文化社会学				
	3	生活と健康	, , , , , ,	健康増進法、がん対策基本法 プロモーション・プラン		人間関係論 マネジメント論 心と身体の健康				
	4	健康をはぐくむ看護		ぐむ看護とは 、くむ看護の場と活動 ・ーチとポピュレーションアプローチ	講義	専門基礎分野 治療論 I 治療論 II				
	5	成人への看護アプローチの基本	促進する看護ア成人教育学の特	めの捉え方と大人の健康行動を プローチ 寺徴、大人の学習のプロセス、 り援助、行動変容を促す看護アプローラ	講義	保健医療論 公衆衛生学 関係法規Ⅰ 関係法規Ⅱ 社会福祉Ⅰ				
学習内容	6	生活とストレス		構成要素 影響を及ぼす要因 らす健康問題とその予防	講義	社会福祉Ⅱ 専門分野 I 看護学概論				
台	7 8	健康生活の急激な破綻から 回復を促す看護	健康の急激な破急激な健康破紛	皮綻 定をきたした人の看護	講義	専門分野Ⅱ 成人援助論Ⅰ 成人援助論Ⅱ				
	9	健康生活の慢性的な揺らぎの 再調整促す看護	慢性病を持ちな 取り組み・努力	大態の揺らぎと慢性病 がら生活していくうえでたえまない セルフケア この過程を支える看護	講義	統合分野				
		障害を持ちながらの生活と リハビリテーション		リハビリテーション らする人を支援する看護	講義					
	13	人生の最期のときを支える看護		見状 らける3つの概念 きを過ごしている人の理解	講義 グループワーク					
	14			さを支える看護						
	15	終講試験	筆記試験							
評価 デ法		筆記試験(10 但し、受験資格は履修規定、第9条				1				
キスト		系統看護学講座 専門分野 成 国民衛生の動向 厚生労働統記 看護のための人間発達学	ὰ人看護学[1]							

教育	内容	専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい			
極紫:	£1. F1	成人看護学 成人援助論 I	2年次 単位	 健康障害・機能障害をきたした健康	シベルが急性期に	ある対象への看護を理	
以未	7777		1単位	────────────────────────────────────			
担当	港師	富山 美加 臨床経験:10年以上	時間数 30時間	ティカルケアを必要とする成人期の対象への看護)			
15 31	마유니	教育経験:7年以上	20時4月1				
	2	人間を身体的・精神的・社会的に統	合された存在として	て捉え、環境との相互関係の中で、変化	としながら生活する	存在として理解できる能	
教	3	力を養う	学的根拠に其べい	た看護を展開できる基礎的能力を養う			
育目	3			を実践できるとともに、国際化の動向を	>駄まうで手灌な創	告するための基礎的能	
標	4	力を養う					
	5	社会の変化の万同性を埋解し、看記養う	専門職として自己啓発に励み、生涯にわたり看護を探求し続ける姿勢を持つための基礎的能え				
	口	項目	for tall there is a second	内容	教授法	関連科目	
	1	急性期における看護とは	急性期とは口	†象と心身の特徴	講義	基礎分野 心理学	
				者、家族への影響		人間工学	
			代理意思決定支			解剖生理学 I·Ⅲ·Ⅲ	
	2	急性期から回復期の看護	侵襲に対する生	体反応	講義	解剖生理学IV·	
			創傷治癒過程と	その看護	グループワーク	看護形態機能学	
			術後の看護合併	宇症とその成り立ち、看護			
	3	急性期から回復期の事例展開	急性心筋梗塞患	景者の看護(事例1)	講義	専門基礎分野	
			***	ーションをもとに急性期から回復期	グループワーク	******	
		to be the analysis of the	を考える	alle de la companie (al companie)	-11. 27.	解剖生理学Ⅱ	
	4	急性期の看護過程□		患者の看護(事例2)	講義	解剖生理学Ⅲ	
	5 6	急性期から回復期の事例展開口	育かんで手術を 情報収集	受ける患者の看護	講義 グループワーク	解剖生理学IV 病態生理学総論	
	0			-ドンの機能的健康パターン)	972-79-9	州原生母子総論 治療論 I	
			問題点の抽出、			治療論Ⅱ	
			実施•評価			治療論Ⅲ	
	7		手術直後の患者	うの看護(フィジカルアセスメント)	演習	病態と治療 I	
			予測の視点を打	寺った観察・アセスメント	発表	病態と治療Ⅱ	
						病態と治療Ⅲ	
学						病態と治療IV	
習内						病態と治療V	
容	1	急性・重症患者の看護		のアセスメントロ	講義	臨床微生物学	
	2		状態とその対応	管内挿管時 急性中毒□		古田八昭 I	
			食中毒 熱中症			専門分野 I 共通看護技術 I	
				・骨折の応急処置		八旭有殿扶州 1	
			7 193 711183 91118	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		専門分野Ⅱ	
	1	周手術期の看護	術前の看護		講義	成人看護学概論	
			・手術療法の理	里解を促す援助		成人援助論Ⅲ	
			・手術の意思を	や定への援助		成人援助論IV	
			•術後合併症の	Dリスクアセスメント			
	2		術中の看護	n = / (All)	講義	統合分野	
			□手術体位とそ		演習	医療安全	
			・手術方法・麻・術中の安全管	酔法による影響と援助 *##		看護倫理	
	3		・俯中の安全電	12年	講義		
	3		111 12 1 11 12	管理・合併症の予防	0円 9戈		
			•早期回復促近				
				ジ変容への援助			
			・機能障害と生	活制限への援助			
	15	終講試験	筆記試験				
評価 方法		筆記試験(8割) レポート(2割)	に トスナ のし・ナス				
// IA		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする				
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ	成人看護学[1]	成人看護学総論 医学書院			
		系統看護学講座 別巻 臨床外	科看護総論 医	学書院			
		系統看護学講座 別巻 臨床外	科看護各論 医	学書院			
テキスト		系統看護学講座 別巻 クリティ	カルケア看護学	医学書院			
			看護学 医学書®				
			リテーション看護	医学書院			
		ナーシンググラフィカ 成人看記	隻(4): 周手術期	看護 メディカ出版			
	1						

教育内容	専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい			
教育/1谷	成人看護学	2年次				
授業科目	成人援助論Ⅱ	単位				
1又来行口	八饭奶蛐Ⅱ	1単位	建康障害・機能障害をきたし健康レベルが慢性期、または終末期にある対象			
	小林 理絵	時間数	の看護を理解する			
担当講師	看護師経験:7年以上	30時間				
	教育経験:10年以上					

- 1 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観を尊重し、倫理的判断に基づいたヒューマンケアを実践するための豊かな人間性を養う
- 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として捉え、環境との相互関係の中で、変化しながら生活する存在として理解できる能
- 3 人々の健康上の課題に応じて、科学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を養う
- 保健・医療・福祉チームの一員として連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するための基礎的能4 かを養う
 - 社会の変化の方向性を理解! 看護専門職と! て自己改発に励み 生涯にわたり看護を探求! 続ける姿勢を持つための基礎的能力を

		項目	内容	教授法	関連科目
	1	慢性期にある患者の看護	経過別看護とは 慢性期看護の特性	講義	基礎分野
			セルフマネジメント支援に必要な視点		心理学
					論理学
	2	慢性期にある対象理解	これまでの生活習慣および現在の疾患の経過を理解する	講義	教育学
	3	(情報収集・アセスメント)	生活習慣をアセスメントするための視点	グループワーク	人間工学
	4		原疾患の経過をアセスメントするための視点		人間関係論
			セルフマネジメント能力のアセスメント		心と身体の健康 I
			情報をカテゴリー化してアセスメント		
			コアとなる情報・生活行動の情報とは		専門基礎分野
					解剖生理学I
	5	慢性期にある対象の	入院前の生活が退院後に及ぼす影響はなにか	講義	解剖生理学Ⅱ
		全体像の把握		グループワーク	解剖生理学Ⅲ
	6	慢性期にある対象の看護問題の	対象の弱み・強みを考えた問題		解剖生理学IV
		抽出	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		治療論I
	7	慢性期にある対象の看護計画	 自己効力感 エンパワメント 成人学習理論	講義	治療論Ⅱ
	•		対象における教育・指導を考えるにあたって	グループワーク	病態と治療I
			必要な視点		病態と治療Ⅱ
学			2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		病態と治療Ⅲ
習	8	終末期にある対象の人生の	身体面のアセスメントの視点		病態と治療IV
内容	9		(全身倦怠感・食欲不振・呼吸困難・がん性疼痛など)		病態と治療V
47	10	7,777	化学療法・放射線療法と看護	講義	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	11		心理面・社会面のアセスメントの視点	グループワーク	専門分野 I
			(死の受容過程)		看護学概論
			ケアリング		共通看護技術I
	12		臨死期の看護	講義	7.2 EIQ.7.11 1
	13	緩和ケアとは	QOLの定義 QOLを高める援助	p17 4-2	専門分野Ⅱ
	14	ASCITED A CITA	緩和ケアにおけるチーム医療		成人看護学概論
			100 (17) (14) (17) (17) (17) (17) (17)		//// C B HZ 1 PSCHIII
					統合分野
					Wa 1 3/2
	15	終講試験	筆記試験		
平価		筆記試験(8割) レポート(2割)			
ナ 温		但し、受験資格は履修規定、第9条1	こよるものとする		
		一、一个人们是自己的人们的人们	-55000000000000000000000000000000000000		

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学4 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院

テキスト

教育

目

標

能障害をきた	した成人期にある対象の看
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
教授法	
講義	基礎分野 心理学 人間工学
	人間関係論
	専門基礎分野
	解剖生理学 I 解剖生理学 II
	解剖生理学Ⅲ 解剖生理学Ⅳ
演習	治療論 I 治療論 Ⅱ
講義	病態と治療 I 病態と治療IV
	看護形態機能学
	専門分野 I 看護学概論
	看護援助技術IV 看護援助技術IV
演習	専門分野 II 成人看護学概論
講義	統合分野
_1	

教育	内容	専門分野 Ⅱ 成人看護学	時期 2年次	科目のねらい		
授業	科目	成人援助論IV	単位 1単位	──		
		田中 友香	時間数	■ 大餐祭取、代謝障害・排泄を 人期にある対象の看護を学、		即障舌・燃柴症をさたした成
担当	講師	看護師臨床経験:10年以上	30時間			
教育目	3	人々の健康上の課題に応じて、科	学的根拠に基づい	た看護を展開できる基礎的能	力を養う	
標						
	口	項目		内容	教授法	
	1	内分泌機能障害を持つ 対象の看:	内分泌機能障害 甲状腺機能障害	だもつ患者の特徴 だもつ患者の看護	講義	基礎分野 心理学
	2	内部環境調節機能障害をもつ	糖尿病患者の看	護		人間工学人間関係論
	3	対象の看	糖尿病患者の事	例		専門基礎分野
			ライフステージご	いの独見庁		解剖生理学I
	4		血糖測定の実際	_ ,,,,,,,	演習	解剖生理学Ⅱ 解剖生理学Ⅲ
			皿 相例 足 少 天 际	;	(興百	解剖生理学IV
	1	栄養代謝機能障害を持つ	学業代謝機能陪	(害のある患者の看護①	講義	牌司生生子IV 治療論 I
	1	対象の看		- ロ・ノはアンINTI YZI目 関U	D179-寻戈	治療論Ⅱ
	2	7,1,2,1,7 (1)		音のある患者の看護②		病態と治療Ⅱ
						病態と治療IV
	3	消化吸収機能障害を持つ	消化吸収機能障	(害のある患者の看護①		病態と治療V
		対象の看	護			看護形態機能学
	4		消化吸収機能障	音のある患者の看護②		
						専門分野 I
学	5		消化吸収機能障	(害のある患者の看護③		看護学概論
学習内容	1	排泄機能障害を持つ 対象の看	排泄障害を持つ 護	対象の看護①	講義	専門分野 Ⅱ 成人看護学概論
	2		排泄障害を持つ	対象の看護②		統合分野
	1	身体防御機能障害を持つ 対象の看		(害のある患者の看護①	講義	
	2		身体防御機能障	害のある患者の看護②		
	3		身体防御機能障	(害のある患者の看護③		
	15	終講試験		筆記試験		
評価		筆記試験(10割)				
方法		但し、受験資格は履修規定、第9		4 計 	E W + Ph	
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 系統系統学講座 専門分野Ⅱ	成人看護学[4]	血液•造血器	医学書院	
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ	成人看護学[5]	消化器	医学書院	
テキスト		系統看護学講座 専門分野 II 系統看護学講座 専門分野 II	成人看護学[6] 成人看護学[8]	内分泌·代謝 腎·泌尿器	医学書院 医学書院	
/ 1 / 1		系統看護字講座 専門分野 II 系統看護学講座 専門分野 II	成人看護子[8] 成人看護学[11]	育・泌水布 アレルギー・膠原病・感染症	医子香院 医学書院	
	l	小咖啡吃丁啡庄 导门刀判Ⅱ			四丁百匹	
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ	成人看護学[12]	皮膚	医学書院	

教育	内容	専門分野 Ⅱ 成人看護学	時期 2年次	科目のねらい		
授業	科目	成人援助論V	単位 1単位			性、生殖機能障害をきた
溝口 綾 時間数 た成人期にある対象の看護を学ぶ 担当講師 看護師臨床経験:10年以上 30時間		- హ				
教育日	3	人々の健康上の課題に応じて、科:	学的根拠に基づい	トニュース トラス と	一養う	
目 標						
	口	項目		内容	教授法	関連科目
	1	脳・神経機能障害を持つ 対象の看護	急性期の患者の		講義	基礎分野 心理学
	2		回復期の患者の			人間工学 人間関係論
	3		慢性期の患者の	看護		心と身体の健康 I
	4		症状・障がいを持	持つ患者の看護		専門基礎分野 解剖生理学 I
	5		高次脳機能障害	ぎの看護		解剖生理学Ⅲ 解剖生理学Ⅲ
	6		病期に応じた脳	腫瘍患者の看護		解剖生理学IV 治療論 I
	7		ギランバレー、A	LS、パーキンソン患者の看護		治療論Ⅱ 病態と治療Ⅲ
	1	運動機能障害を持つ 対象の看護	運動機能障害の	ある患者の看護①	講義	看護形態機能学
	2		運動機能障害の	ある患者の看護②		専門分野 I 看護学概論
学 習	1	感覚機能障害のある 対象の看護	視覚障害のある	患者の看護	講義	看護援助技術V
百内容	2		聴覚障害のある	患者の看護		専門分野Ⅱ 成人看護学概論
	1	性・生殖機能障害を持つ 対象の看護	乳房乳がんの手術	を受ける患者の看護	講義	統合分野
	1		婦人科 腎疾患患者の	看護		
	2		女性生殖器疾	患患者の看護		
	15	終講試験	筆記試験			
評価		筆記試験(10割)	<u> </u>			
方法		但し、受験資格は履修規定、第9条				
			成人看護学[7]	脳•神経	医学書院	
			成人看護学[8]	腎·泌尿器	医学書院	
テキスト			成人看護学[9]	女性生殖器	医学書院	
/ イハト			成人看護学[10] 成人看護学[13]	運動器 眼	医学書院 医学書院	
			成人看護子[13] 成人看護学[14]	^眼 耳鼻咽喉	医学書院 医学書院	
	Ì		バハ 個優子[14]	医学書院	四丁目別	

教育	内容	専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい		
		老年看護学	1年次	_		
授業	科目	老年看護学概論	単位 1単位	老年看護の対象を理解し、老年看護近年の社会構造の変化を理解し、老		
	真島 久美子		時間数	動向と対策について理解する	十別における人	~ 07 K 使 医烷 幅位07
担当	講師	看護師臨床経験:10年以上	30時間			
		教育経験:10年以上				
	1	生命の尊厳と人権を守り、人々の多	様な価値観を尊重	し、倫理的判断に基づいたヒューマン	ケアを実践するだ	上めの豊かな人間性を養
	_	フ 人間を身体的・精神的・社会的に綺	で 合された存在として	て捉え、環境との相互関係の中で、変化	しながら生活す	る存在として理解できる
教	2	能力を養う				
育目	3	人々の健康上の課題に応じて、科学	学的根拠に基づいた	た看護を展開できる基礎的能力を養う		
標	4		て連携・協働し看護	を実践できるとともに、国際化の動向を	踏まえて看護を	創造するための基礎的
		能力を養う 社会の変化の方向性を理解し 寿	雑恵明職り で白己	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・) 続ける次熱を	性へための其磁的能力
	5	を養う	受守门城として日に	1日元(こ)がパー早日(こ47/こり)自咬ごかか		17 ラ/このプック本版は71677
	口	項目		内容	教授法	関連科目
	1	超高齢社会の統計学的輪郭	超高齢社会の現法	兄	講義	基礎分野
	2	老年看護の対象理解	加齢に伴う変化と	老 ル	講義	心理学 哲学
	4	七十年度以外家庄府		とした4つの力の変化	0件 李笔	文化社会学
			疾病をめぐる特			教育学
	3		加齢に伴う心理的		演習	人間関係論
			知能 人格 倉	川造性 セクシュアリティ		心と身体の健康Ⅱ
	4		加齢に伴う社会的	側面の変化		
				てきた時代背景とライフヒストリー		専門基礎分野
				齢者のいる世帯 暮らし		解剖生理学 I ~Ⅳ
	5		高齢者の定義と表		講義	看護形態機能学
			老年期の発達段隊	偕· 発達課題	講義	治療論 I ~Ⅲ 保健医療論
	6		高齢者擬似体験		演習	公衆衛生学
			IN I			社会福祉 I・Ⅱ
	7 老年看護における倫理的課題と 高齢者差別				講義	関係法規 I
	権利擁護権利擁護のた		権利擁護のための	D制度		
兴	8	高齢社会における		る保健医療福祉の動向	講義	専門分野 I
学 習	9	保健医療福祉制度	老人福祉法			看護学概論
内容				目的と理念 制度の仕組みとサービス 地域包括支援センター		共通看護技術 I・Ⅱ
谷				地域已行文後ピンター 保法 新オレンジプラン		看護援助技術 I
			同断日区水ル	INICA ANA DO DO JOS		専門分野 Ⅱ
	10	老年看護の特徴と役割	老年看護の特徴と	と役割	講義	老年援助論Ⅰ~Ⅲ
	11			意思決定 生活機能の最大限の回		成人看護学概論
	11		復 夕聯孫連维			
			多職種連携	5理論・概念の活用	講義	成人援助論 I・Ⅱ 母性看護学概論
			11日時における	マイエ 戸間 「例が心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p件 寻戈	存性有護子概論 精神看護学概論
	12	健康段階別の高齢者への援助	高齢者のヘルスフ	プロモーション	講義	114.1. EL N.Z. 3. 1974HIII
			介護保険施設には	おける高齢者の看護		統合分野
			地域で治療・介護	を必要とする高齢者と家族の看護		医療安全
			リスクマネジメント	エンドオブライフケア		在宅看護概論
						看護の統合と実践
	13	地域で生活する健康な	老人福祉センター		演習	看護管理•看護倫理
	14	高齢者の理解	高齢者の社会			
			地域で暮らして	くいる局節者 ニュニケーション		
			プロセスレコー			
				•		
	15	終講試験	筆記試験			
評価		筆記試験 (9割) レポート(1割)	-		•	
方法		但し、受験資格は履修規定、第9条	:によるものとする			
		∡供手进以排序 → □ □ □ □	*/r=#**	F 27 4-17-		
		系統看護学講座 専門分野 II 系統看護学講座 専門分野 II	老年看護学 老年看護 病態•	医学書院 疾患編 医学書院		
テキスト		※ 然有護子講座 専門分野Ⅱ国民衛生の動向 厚生労働統計		灰心柵 区子音阮		
		看護のための人間発達学 第4版	医学書院			
			· · · · · · ·			

教育	内容	専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい		
		老年看護学	1年次 単位	_		
授業	科目	老年援助論 I	1単位	the field of the control of the cont	n)	W
		佐野 和美	時間数	老年期の特徴と疾病、症状、病態生理	世を理解し、おもた	な治療およびについて学ぶ
担当	講師	看護師臨床経験:10年以上	15時間			
	1	教育経験:5年以上				
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に 力を養う	統合された存在とし	て捉え、環境との相互関係の中で、変化	しながら生活する	存在として理解できる能
育	3			た看護を展開できる基礎的能力を養う		
目 標	_	保健・医療・福祉チームの一員とし	て連携・協働し看記	夢を実践できるとともに、国際化の動向を	沓まえて看護を倉	造するための基礎的能力
	4 □	を養う 項目			教授法	関連科目
	1	高齢者の特徴的な症状として	老化の生理と病		講義	基礎分野
		老年症候群	老年症候群		117.4%	心理学
						人間工学
	2	老年期の疾患とアセスメント	呼吸•循環器系		講義	人間関係論
			感染症/尿失禁	のアセスメント		心と身体の健康 I
	0		次本11~10 17 =97 丁	八沙玄の佐東した仏	# 	古田甘水八呎
	3			分泌系の疾患と症状 脱水/低栄養と貧血のアセスメント	講義	専門基礎分野 解剖生理学 I
			(酸塩基平衡・浮			解剖生理学Ⅱ
			COLUMNIA IN IT			解剖生理学Ⅲ
	4		腎泌尿器・血液:	系・皮膚疾患と症状	講義	解剖生理学IV
			便・尿失禁のアヤ	セスメント/清潔の変調のアセスメント		
				والمعلم (والعملم الله عمد الله الاستخداد	-11. \	専門分野I
	5			シルギー・リウマチ性疾患と症状	講義	看護学概論
			ADLIK F/廃用犯	定候群/転倒転落のアセスメント		看護援助技術Ⅲ 共通看護技術 I
	6		精神・神経系の	 疾患と症状(構音障害や失語症も含む)	講義	六四百度以們 I
				妄/認知機能低下/睡眠障害の	HI 1 2 A	専門分野Ⅱ
			アセスメント			
学 習						統合分野
内	7	高齢者と薬	高齢者と薬		講義	
容			楽理学 楽が作	三用する仕組み(薬力学)参照」		
			高齢者の安全	か薬物治療		
			IN I	6.7C 19.1H //X		
	8	終講試験	筆記試験			
評価		筆記試験(10割)	タルレフィー・・・・			
方法		但し、受験資格は履修規定、第9	条によるものとする			
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ	老年看護学	医学書院		
ニナー)		系統看護学講座 専門分野Ⅱ	老年看護 病態			
テキスト		系統看護学講座 専門基礎分野	予 解剖生理学	医学書院		
		系統看護学講座 専門基礎分野	予 薬理学	医学書院		

教育区	勺容	専門分野 Ⅱ 老年看護学	時期 2年次	斗目のねらい			
授業科目担当講師		老年援助論Ⅱ 単位 1単位		高齢者特有の疾病や障害の特徴を理解し、経過の特徴に応じた健康の保持 進や回復への援助について学ぶ、検査・治療をうける高齢者への看護につい			
		栗岡 美千代 看護師臨床経験:10年以上		Eや回復への援助について子ふ。ℓ)学ぶ	東省・宿療をつける。	制節者への有護につい	
教	2	 人間を身体的・精神的・社会的に統	Ⅰ 「合された存在として捉え、環境	との相互関係の中で、変化しながら	生活する存在とし	て理解できる能力を養力	
育目標	3	人々の健康上の課題に応じて、科学					
541	4	保健・医療・福祉チームの一員として	て連携・協働し看護を実践できる	るとともに、国際化の動向を踏まえて		上めの基礎的能力を養う	
	口	項目		内容	教授法	関連科目	
	1	高齢者のヘルスアセスメント 健康逸脱からの回復を促す看護	身体の加齢変化とアセスメント 外皮系・感覚系・循環系・呼吸 症候のアセスメントと看護		講義	基礎分野 人間工学 人間関係論	
		に	発熱 痛み 掻痒 脱水 嘔	吐 浮腫 倦怠感		心と身体の健康Ⅱ	
	2	治療を必要とする高齢者の看護	治療を必要とする高齢者の看 入院治療・検査・薬物療法・		講義	専門基礎分野 解剖生理学 I ~IV	
	3	高齢者のリハビリテーション	高齢者のリハビリテーションと 高齢者の自宅医療とエンドオ		講義	看護形態機能学 病態生理学総論 臨床微生物学	
	4	高齢者への日常生活援助	おむつ交換 ベッド上での陰部洗浄は、基 トイレでの排泄援助(車いすぐ		演習	治療論 I ~Ⅲ 病態と治療 I ~V 専門分野 I	
学習	5	身体疾患のある高齢者の看護ケア	骨折/骨粗鬆症/大腿骨頸部/変形性関節症 感染症:インフルエンザ・肺炎 脳血管疾患:パーキンソン病 認知症	骨折	講義 GW発表	看護学概論 看護援助技術Ⅲ 共通看護技術 I · 看護援助技術 I ~ 基礎統合演習	
6内容			慢性閉塞性肺疾患 心不全 疥癬			専門分野Ⅱ 老年看護学概論 老年援助論Ⅰ・Ⅲ 成人看護学概論	
	7 8 9 10	事例展開① 入院加療が必要な老年期の対象 と家族への援助	健康障害のある高齢患者の看 誤嚥性肺炎に罹患した対: ホリスティックな対象の理解 「コアとなる情報」「生活行!	象への援助 Bと目標志向型思考 助」の情報収集と解釈分析	演習	成人援助論 I ~ V 精神援助論 I・Ⅱ 統合分野	
	11	事例①を用いた援助	対象の望む回復像と看護の 誤嚥性肺炎でNGチューブや 口腔ケアも含む	の焦点 胃瘻挿入中の人への看護援助	講義演習	医療安全 看護管理・看護倫: 看護の統合と実践	
		事例①を用いた シミレーション演習 Ⅱ	「もてる力を活用した看護計画	『の実施』	シミュレーション 演習		
	15	終講試験	筆記試験				
評価 方法		筆記試験(7割),レポート・学習状況 但し、受験資格は履修規定、第9条		ン侇省)			
キスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ		学書院 学書院			

教育区	勺容	専門分野Ⅱ 老年看護学	時期 2年次	科目のねらい						
授業科目		老年援助論Ⅲ 単位 1単位		────多様な健康レベルにある老年期の	対免レスの宏振など	公今的にアヤマかい				
担当詞	講師	田中 さおり 看護師臨床経験:10年以上	時間数 30時間	象に応じた看護を展開できる能力を						
	1			重し、倫理的判断に基づいたヒューマ						
教	2	人間を身体的・精神的・社会的に総力を養う	かけされた仔仕とし 	て捉え、環境との相互関係の中で、変	化しなから生活す	る仔仕として埋解できる『				
育目標	3	,	人々の健康上の課題に応じて、科学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を養う							
1示	4	保健・医療・福祉チームの一員として連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するための基礎的能力を養う 社会の変化の方向性を理解し、看護専門職として自己啓発に励み、生涯にわたり看護を探求し続ける姿勢を持つための基礎的能力を								
	5	養う	 世界円棚として日							
-	口 1	項目 高齢者の特徴をいかした	古典老の性郷な	内容 踏まえた看護展開	教授法	関連科目				
	1	高齢者の特徴をいかった。 看護過程の考え方	1.451 5 141810	踏まえに看護展開 レ」の概念・枠組みと活用方法	講義	基礎分野 論理学				
	2	高齢者の生活機能を整える看護	活動	りの	講義	心理学				
	-	同語でロットに対象的で定人の任政	1	竟、転倒、廃用性症候群	演習	人間工学				
			を 事件 と 現 り アセスメント と 看		(央 日	大间工子 哲学				
				『硬 評価担保 身の移乗動作、良肢位の保持		社会文化学				
				Rの移来動作、民成位の休舟 防の援助(自動・他動運動)/		教育学				
				のの後明(日期・他期連期)/ ポジショニングも		教育子 人間関係論				
	3	高齢者の生活機能を整える看護	食事·食生活	ルンショーン グ り	講義	八川渕/木岬				
	J	同時では、大口は、大田の、田で、田で、田田では、大田で、田田では、大田で、田田では、大田で、田田で、田田で、田田で、田田で、田田で、田田で、田田で、田田で、田田で		的な摂食嚥下機能と栄養状態の変調		専門基礎分野				
				スメントと支援、栄養ケア・マネジメント		解剖生理学 I ~IV				
	4	高齢者の生活機能を整える看護	排泄	シントと文版、未養ケテーマインテント	講義	看護形態機能学				
	T	同間でジエ石機能を並んる有機	排泄障害の特	씘	144-4%	病熊生理学総論				
				ュ ントと尊厳をまもる排泄ケア		臨床微生物学				
	5	高齢者の生活機能を整える看護	清潔(身じたく)	- 1 C T/MX C み O J が T IE / /	講義	治療論Ⅰ~Ⅲ				
	Ü	FASEL E A TRIE DAME CITE ACA LE DE		やすい清潔に関する健康課題	HIT TA	病態と治療 I ~ V				
			清潔のアセスメ			社会福祉 I・Ⅱ				
	6	高齢者の生活機能を整える看護	生活リズム(休息	2477	講義	関係法規Ⅰ・Ⅱ				
	U	12日12日12日12日日		り 的な睡眠と覚醒の変化	NIX-4X	INTURANGI II				
			1.321 2 13 150	セスメントと看護		専門分野 I				
	7	高齢者の生活機能を整える看護	コミニュケーション	*****	講義	看護学概論				
	•			いるコミュニケーション上の特徴と	1013-324	共通看護技術 I・Ⅱ				
				コミュニケーション障害		看護援助技術 I ~ Y				
			コミュニケーショ	ョン能力のアセスメントと状態・状況に		基礎統合演習				
				応じた看護						
	8	福祉用具の活用への援助		ーへの見学(ATC)	演習	専門分野Ⅱ				
	9	認知機能障害のある		ある高齢者の看護	講義	老年看護学概論				
		高齢者の看護	he was a second to	者のリスクマネジメント	演習	老年援助論 I・Ⅱ				
				質関係構築の実際	-10.26	成人看護学概論				
	10	生活の再構築へ向けた看護		サービス活用の実際	講義	成人援助論I~V				
			家族支援・生活			精神援助論 I・Ⅱ				
		本 周日明 ②	退院支援•退院記		2# 4¢	6+ A A B				
	11	事例展開②	退院支援・退院記	122.74	講義	統合分野				
		中長期的な療養を必要とする		生活と療養の場における看護	グループワーク					
	12	老年期の対象と家族への援助		施設・通所施設での看護の役割・機能	á	在宅援助論Ⅰ~Ⅲ				
				と基盤とした施設での生活への援助		医療安全				
	13			けた包括的・継続的支援		看護管理•看護倫理				
				ヒケアマネジメント		看護の統合と実践				
	14	ΛΩ Δ± ± Δ. ΩΛ	多職種連携と	 丁護の専門性						
	15	終講試験	筆記試験	MOR #1 18 11	ļ	<u> </u>				
平価 5法		筆記試験(7割)、レポート・学習状況 但し、受験資格は履修規定、第9条		AIU見字レホート)						
		玄 公全難学建市	学 年季港	床公事時						
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ		医学書院 医学書院						
上つ1			老年看護学 病態		·					
キスト		生活機能からみた老年看護過程+	·	連図 医学書院(eナーストレ	—·, —)					

教育内容	専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい
教育/1分	小児看護学	2年次	
授業科目	小児看護学概論	単位 1単位	21世紀の小児看護を担う人材として、小児を理解し、複雑化・多様化する小児 の健康問題を社会・家族の広い視野から洞察し、こどもの人権尊重を基盤にし
担当講師	泊 祐子 教育経験:10年以上 臨床経験:3年以上	時間数 30時間	の健康问題を社会・家族の広い視野から何祭し、こともの人権导重を基盤にした小児看護のあり方を学び、小児看護の実践に活かす。

- 1 生命の尊厳と人権を守り、人々の多様な価値観を尊重し、倫理的判断に基づいたヒューマンケアを実践するための豊かな人間性を養う
- 2 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として捉え、環境との相互関係の中で、変化しながら生活する存在として理解できる 能力を養う
- 3 人々の健康上の課題に応じて、科学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を養う

教育

目

標

保健・医療・福祉チームの一員として連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するための基礎的能力を養う

	保険・医療・倫催ナームの一員として連携・協働し有護を美銭でさるとともに、国際化の期刊を踏まえて有護を創造するための。 4 力を養う					
	口	項目	内容	教授法	関連科目	
	1	小児看護の理念と対象	子どもとは 小児期の区分・子どもの特性	講義	基礎分野	
			小児看護の対象 小児看護の目標と役割	演習	心理学	
		小児医療と小児看護の変遷	小児看護の歴史、子ども観の変遷、小児医療の変遷	講義	人間工学	
	2	小児看護における倫理と	子どもの権利と歴史的流れ、児童憲章	講義	人間関係論	
		子どもの権利	子どもの権利条約の特徴 子どもの権利を守る倫理	演習	文化社会学	
			インフォームト・アセントとプレパレーション			
	3	子どもをはぐくむ社会	児童福祉法 母子保健法	講義	専門基礎分野	
			母子手帳、発達健康診査、予防接種法	演習	公衆衛生学	
	4	子どものヘルスプロモーションと	未熟児養育医療	講義		
		看護	小児慢性疾患特定疾患治療研究事業	演習	専門分野 I	
			学校保健(学校保健安全法 特別支援教育 医療的ケア		看護学概論	
	5	子どもの成長・発達と看護	成長・発達の一般的原則、発達段階	講義	共通看護技術 I	
		新児期の成長・発達	新生児期の「動く機能」の発達	演習		
			原始反射、姿勢反射、粗大運動		専門分野Ⅱ	
			胎児循環から成人循環			
	6	乳児の成長・発達	乳児期の発達課題 ボウルビの愛着理論	講義		
		(メモ:9回目の課題説明)	乳児期の形態的特徴	演習		
			身体生理、運動機能、手の巧緻性		統合分野	
	7	小児の発達支援1	口腔の発達と食べる機能の発達	講義		
			排泄機能の発達と睡眠リズム 乳児の1日の生活リズム	演習		
	8	小児の栄養	歯の萌出	講義		
			発達に応じた小児の栄養(母乳栄養、離乳食)	演習		
	9	幼児の成長・発達	幼児期の発達課題	講義		
			形態的特徴、感覚・運動・知的機能の発達	演習		
			ピアジェの認知発達の理論			
			運動機能の発達による遊びの種類の増加			
	10	学童期の成長・発達と支援	学童期の発達と発達課題 学童期の形態的特徴	講義		
			仲間づくりと社会性の発達 給食と食物アレルギー	演習		
			生活習慣と疾病予防			
	11	思春期・青年期の身体的発達の	思春期・青年期の身体的発達の特徴	講義		
		特徴	自我発達、心理的発達 エリクソンの自我発達理論	演習		
			不適応行動 性教育、安全教育			
	12	小児の発達支援2	小児の日常生活習慣の確立:食事、着替え、清潔(歯磨き、	演習		
			入浴、排泄)の自立について個人学習してきた記録をもとに			
			GWを行い、授業資料を作成する。			
	13	小児の発達支援4	日常生活習慣の確立に関する担当項目を授業する。	演習		
	14	小児と家族への看護	現代家族の問題 家族とは?家族アセスメント	講義		
		小児の特徴をふまえた看護	家族発達段階、家族の役割 家族の役割	演習		
			小児がんの子どもと家族			
			子どもの病気の受け止め方、子どもの死の概念			
	15	終講試験	筆記試験			
評価		筆記試験(7割) 課題提出およびグル	レープ発表(3割)			
方法		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする			
			the State Institute of the Institute of the State Institute of the S			

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論・小児臨床看護総論

系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論

国民衛生の動向 厚生労働統計協会

看護のための人間発達学 第5版 医学書院

教育内	内容	専門分野 Ⅱ 小児看護学	時期 2年次	科目のねらい		
授業和	4目	小児援助論 I	単位 1単位			
担当詞	講師	四本 由郁 医師臨床経験:10年以上	時間数 30時間	──小児期の特徴的な健康障害につ	いて、症状発生の)メカニズムや治療を学ぶ
教	2		 統合された存在とし	 	変化しながら生活	する存在として理解でき
育目標		能力を養う 人々の健康上の課題に応じて、科	学的根拠に基づい	いた看護を展開できる基礎的能力を表	 を う	
	口	項目		内容	教授法	関連科目
	1	小児の病状	呼吸困難・チア		講義	基礎分野
	2		意識障害・けいれん・発熱 など			人間工学
	3		嘔吐·下痢·便和 浮腫··出血·貧			専門基礎分野
						解剖生理学 I
	4	小児の疾患と治療	胎児循環		講義	解剖生理学Ⅱ
	\		先天異常			解剖生理学Ⅲ
	11		代謝性疾患			解剖生理学IV
			内分泌疾患	此		±=== // === +
				ー性疾患・リウマチ性疾患		専門分野 I
			感染症			古田八野 豆
			呼吸器疾患			専門分野Ⅱ
			循環器疾患			小児援助論Ⅱ
			消化器疾患 血液•造血器疾	由		小児援助論Ⅲ
				思		ケヘハ甲
			悪性新生物	および生殖器疾患		統合分野
			神経疾患	わよい生殖益失思		
			運動器疾患			
			皮膚疾患•感覚	哭疙串		
学 習						
内	12	小児外科疾患と治療	良性の疾患(特	に腹部の疾患)		
容	13	7 75 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	先天性の消化管			
	14			小児の腫瘍 など		
				ア、先天性食道閉鎖症	講義	
				是症、腸閉鎖症、鎖肛		
				腹壁破裂、ヒルシュスプルング病		
			鼠径ヘルニア、	口唇口蓋裂など)		
			1			
			1			
			1			
			1			
			1			
			1			
			1			
			1			
			1			
		Λ6 =#+ = \\ EKΛ	forter at your on to see the			
ini /m²	15	終講試験 筆記試験 (10割)	筆記試験			
评価 方法		章記試験 (10割) 但し、受験資格は履修規定、第9%	をによるものレナス			
		系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨	床看護各論			
キスト						
キスト						

教育内	勺容	専門分野 Ⅱ 小児看護学	時期 2年次	科目のねらい			
授業和	斗目	小児援助論Ⅱ	単位				
		山本 亜希子	1単位 時間数	健康障害をもつ小児と家族が生	上活・療養するため に	必要な看護を学ぶ	
担当請	講 師	看護師臨床経験:10年以上	30時間	30時間			
教育	4	【 保健・医療・福祉チームの一員として 能力を養う	 で連携・協働し看	護を実践できるとともに、国際化の	動向を踏まえて看護	を創造するための基礎的	
目標							
	口	項目		内容	教授法	関連科目	
	1	染色体異常・胎内環境により 発症する先天異常と看護	出生前 出生後 おもな染色体異	の看護 常疾患をもった小児の看護	講義	基礎分野專門基礎分野	
		新生児の看護	低体重出生児の)看護		解剖生理学I	
						解剖生理学Ⅱ	
	2	疾患別・状況に応じた看護	代謝性疾患		講義	解剖生理学Ⅲ	
	3		内分泌疾患			解剖生理学IV	
	4		免疫疾患・アレノ				
	5		感染症(麻疹・風	(疹など)		専門分野 I	
			呼吸器疾患				
			循環器疾患			専門分野Ⅱ	
			消化器疾患	ь.		小児看護学概論	
			血液•造血器疾.	思		小児援助論I	
			悪性新生物	化		小児援助論Ⅲ	
			腎・泌尿器及び	生殖器疾患		ケーク ハ mマ	
			神経疾患			統合分野	
			皮膚疾患 耳鼻咽喉疾患				
			井鼻咽喉疾患 精神疾患				
			事故・外傷の看	護			
学 習	6	健康障害をもつ小児の生活と看護	経過別の看護		講義		
内容	7		処置・検査を受り				
谷	8			、、点滴、採血、与薬 など)			
	9			小児と家族の看護 小児と家族に与える影響			
	10	症状のある小児への看護	痛み、呼吸器・循	盾環器系の症状、発熱など	講義		
	11						
	12	心身障害のある小児	障害の捉え方、	小児、家族の特徴	講義		
	13		社会的支援				
	14		小児の虐待と看	護			
	15	終講試験	筆記試験				
平価 方法		筆記試験(10割)	Jァレフュ の1 Lマ				
<i>J</i> 15		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする。				
		系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看記		床看護総論			
キスト		系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨時	末看護各論				
キスト		系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨歴	末看護各論				

教育内	內容	専門分野 Ⅱ 小児看護学	時期 2年次	科目のねらい						
授業和		小児援助論Ⅲ	単位 1単位	小児期にある対象とその家族に必 の技術を身につける	要な看護を理解する	るために、看護過程風				
		長野 安莉紗	時間数	■ 事例を通して、特に成長発達と目 計画の立案、実施、追加、修正の						
担当請	講 師	看護師臨床経験:5年以上	30時間	知識・技術・態度を身につける	ノロビへを美施する	C C小児 1 碳 (C 火) 3				
		教育経験:3年以上 財を身体的・特神的・社会的に	あ今された方左い		かル) かがた生活す	ス方左り て理解でき				
±1/4	2	能力を養り								
教 育 目		3 人々の健康上の課題に応じて、科学的根拠に基づいた看護を展開できる基礎的能力を養う 、保健・医療・福祉チームの一員として連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するための基礎的								
標	4	能力を養う			,.					
	Б	を養う								
-	口	項目		内容	教授法	関連科目				
	1	小児の看護過程の展開	事例展開:	₩ 左旋士咄自のフ!¼ b字振口	講義	基礎分野				
1	5		, , , , , , ,	群・気管支喘息の子どもと家族□	グループワーク	心理学				
	10		看護過程、情報	収集の視点		人間関係論				
]			アセスメント							
			関連図の書き方	•		専門基礎分野				
			看護問題の抽出	₫						
			ケアプランの立つ	•		専門分野 I				
					発表	看護学概論				
-			グループ毎に発表し共通理解をする		元以	A 104 4 10 - 1114				
	11	1.日次図画ムチ世井体	松木 40四十二	リーフ 1 ドル・カチデサ	# *	共通看護技術 I				
		小児に必要な看護技術		ける子どもの看護	講義					
	5		プレパレーション		演習	専門分野Ⅱ				
	14		フィジカルアセス	マメント		小児看護学概論				
			バイタルサイン港	則定 身体測定		小児援助論 I				
-			子どもの安全			小児援助論Ⅱ				
			感染予防							
			点滴管理			統合分野				
			ベッド柵の操作							
J										
			保清							
学			遊び							
習										
内										
容										
-										
-										
-										
-										
	15	終講試験	筆記試験							
価		筆記試験(5割) 課題提出および		表(5割)						
法		但し、受験資格は履修規定、第9名	♠によるものとする							
		系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看	護学概論・小児臨	ā床看護総論						
J	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児臨床看護各論									
		糸統看護字講座 専門Ⅱ 小児臨								
キスト			10个有受口'開							
: 자		糸統看護字講座 専門Ⅱ 小児臨	八 日 支 口							

tot. I c		専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい		
教育区	勺容	母性看護学	2年次			
授業程	科目	母性看護学概論	単位 1単位 母性の概念および特殊性を把握し、			
担当記	講師	増本 綾子 看護師臨床経験:10年以上 教育経験:10年以上	時間数 30時間 単か価値細を剪重	イクルを健全に過ごすための看護の 		
教	1 2	う		「捉え、環境との相互関係の中で、変		
育目		能力を養う	/ // la lie) = ++	. ~.+ [] [] [] \ _ + + + + \ _ \ _ _ _ \ _ \ _ \ _ \ _ \ _ \		
標	3	保健・医療・福祉チームの一員として		と看護を展開できる基礎的能力を養う を実践できるとともに、国際化の動向?		創造するための基礎的
	□	能力を養う 項目		 内容	教授法	関連科目
	1	母性看護の基盤となる概念	母性とは		講義	基礎分野
	2 3		母子関係と家族発性と生殖 ヘルスプロモーショ	. _		心理学 教育学 人間関係論
	4 5		リプロダクティブへ 母性看護のあり方 母性看護における 安全・事故予防		講義	文化社会学 専門基礎分野 関係法規 I
	6	母性看護の対象を取り巻く 社会の変遷と現状	母性看護の歴史的		講義	関係法規Ⅱ 公衆衛生学
	7		母子保健統計の動 母性看護に関する 母子保健に関連す	組織と法律		看護形態機能学 社会福祉Ⅱ
	8		母性看護の対象を	:取り巻く環境	講義	専門分野I
	9 10	母性看護の対象理解	女性のライフサイク	フルにおける形態・機能の変化		看護学概論 成人看護学概論
	11		女性のライフサイク	ルと家族	講義	老年看護学概論 小児看護学概論
学習	12 13		ライフサイクルにお 思春期の健康と看	がける女性の健康と看護の必要性 誰	グループワーク	精神看護学概論
内	19	おり公有暖	応番期の健康と看 成熟期の健康と看			専門分野Ⅱ
容			更年期の健康と看 老年期の健康と看	護	講義	母性援助論 I 母性援助論 II 母性援助論Ⅲ
	14	リプロダクティブヘルスケア	家族計画 性感染症とその予 HIVに感染した女 人工妊娠中絶と看 喫煙女性の健康と 性暴力を受けた女 児童虐待と看護 国際化社会と看護	性に対する看護 護 看護 性に対する看護		統合分野 看護倫理
新加·	15	終講試験 筆記試験(8割) 学習状況(2割)	筆記試験			
評価 方法		筆記試験(8割) 字質状况(2割) 但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする			
テキスト		系統看護学講座 専門分野II 母性 看護のための人間発達学 第5版 国民衛生の動向 厚生労働統計版	反 医学書院	看護学概論 医学書院		

教育	内容	専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい				
علاد تحا	0.0	母性看護学	2年次 単位	_				
授業		母性援助論 I	1単位		正常な経過をたどる妊婦・産婦・褥婦・新生児の理解と看護実践能力を養うもに、ウエルネスの視点で対象に関わり、適切な時期に応じた援助について			
Tra 214 =	att: 4T*	宮崎 貴子	時間数	\$	(= 0,42.5(,00.50.01)	y/10/01/01/01/01/01/01		
担当記		助産師臨床経験:10年以上 教育経験:5年以上	30時間					
	1	生命の尊厳と人権を守り、人々の	多様な価値観を尊	 「重し、倫理的判断に基づいたヒュー	ーマンケアを実践する	るための豊かな人間性を		
教		う 人間を身体的・精神的・社会的に	に統合された存在と	して捉え、環境との相互関係の中で	で、変化] かがら生活	する存在として理解でき		
育	2	能力を養う	-Man Charlett III.	o therety skylless family pro-) will inco (-in/) (-c		
目 標	3	人々の健康上の課題に応じて、	科学的根拠に基づい	いた看護を展開できる基礎的能力	を養う			
	保健・医療・福祉チームの一員として連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するための 能力を養う							
	口	項目		内容	教授法	関連科目		
	1	母性看護の視点		けるウェルネスの視点	講義	基礎分野		
		母性の発揮を促す看護	母性看護の範囲 遺伝相談	<u>#</u>	講義	心理学 人間関係論		
		母注の光準を促り 有護	退仏作談 不妊治療と看護	4117	神我	八川渕木冊		
				•		専門基礎分野		
	2	妊娠期における看護	妊娠期の身体的		講義	解剖生理学IV		
	0		妊娠期の心理・ 妊婦と胎児のア			看護形態機能学		
	3		妊婦と胎児のた	- , . ,		専門分野 I		
			7 I ALAN CONTRACTOR	I HX		看護学概論		
	4	分娩期における看護	分娩の要素		講義	母性看護学概論		
			分娩の経過			母性援助論Ⅱ		
	5			疾のアセスメント				
				の健康状態のアセスメント の心理・社会面のアセスメント		専門分野Ⅱ		
	6		産婦と家族の看			統合分野		
			産婦のニー	5				
			安楽な分娩・	* * * * * *				
半				肯定的になるための看護				
学習			素本的ニー家族発達へ	ドに関する看護 の看護				
内容			7.2022					
	7	産褥期における看護	産褥経過		講義			
	0			体的変化、心理社会的変化				
	8		褥婦のアセスメ 産褥経過の					
				診断、産褥の異常と看護				
	9		褥婦と家族の看	護				
				回復、進行性変化への看護				
	10		, , , , , , ,	確立への看護 問わる手護				
	10		育児技術に 家族関係再	関わる看護 構築への看護				
			施設退院後の利					
		due of the tiers are a second	due of the		-10.57s			
	11 12	新生児期における看護	新生児の生理 新生児のアセス	マント	講義			
	14		新生児のアセス					
	13			康状態のアセスメント				
			新生児の看護(新生児の異常と看護)				
	14		出生直後~	退院までの看護				
	15	終講試験	筆記試験					
評価 方法		筆記試験(8割) 学習状況(2割)				•		
1114		但し、受験資格は履修規定、第9	ク状によるものとする	,				
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ	母性看護学[2] 母	1性看護学各論 医学書院				
テキスト								

		Tetana ay wa	Tar. ma	Tel - 1		
教育	内容	専門分野 Ⅱ 母性看護学	時期 2年次	科目のねらい		
授業	科目	母性援助論Ⅱ	単位			
		辻本 大治	1単位 時間数	妊娠・分娩・産褥期の母子に異常を	伴った場合の看	護について学ぶ
担当	講師	医師臨床経験:10年以上	15時間			
±1.10	Ι	1 88 2 De le 60 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	な人とれる 左右 1.1 ・		ルルなどと生活さ	- フ 左 ナ し ・
教育	2	た同で好体的・精体的・社会的に確 能力を養う	元司された任任とし	(促え、環境との相互関係の中で、変	化しながり生品 タ	る仔仕とし (
目 標	3	人々の健康上の課題に応じて、科	学的根拠に基づい	た看護を展開できる基礎的能力を養う)	
	回	項目		内容	教授法	関連科目
	1	分娩の歴史 妊娠の異常	ハイリスク妊娠	里的・社会的因子、体格による影響	講義	基礎分野 心理学
		妊娠の共市	既往妊娠分娩			人間工学
				妊娠経過中の異常		人間関係論
	2		合併する全身将	失患	講義	心と身体の健康 I
			妊娠期の感染症			
	3		妊娠疾患		講義	専門基礎分野
	4		多胎妊娠			解剖生理学Ⅱ
			妊娠持続期間の	異常		解剖生理学IV
		D 16 - TI NO	異所性妊娠		-u. a./-	-t-nn ()
	5	分娩の異常	産道の異常		講義	専門分野 I
			娩出力の異常 胎児の異常による	Z. 公佈陪宝		専門分野Ⅱ
			胎児の付属物の			・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
			胎盤の異常	共市		統合分野
	6		臍帯の異常		講義	70 1 33 23
			卵膜の異常			
			羊水の異常			
			胎児機能不全			
学			分娩時の損傷			
学 習 内				、 ・ ・		
容			分娩時異常出』			
	7	新生児の異常	産科処置と産利 新生児仮死	¥ 于 術	** **	
	'	材生児の共吊	低出生体重児		講義	
			高ビリルビン血症	•		
				- パシスト アミンK 欠乏性出血症		
		(
h	8	終講試験	筆記試験			
評価 方法		筆記試験(10割) 但し、受験資格は履修規定、第9%	各にトスものレナス			
		二〇、又吹貝竹は腹形飛足、男35	アトチタカシンへらの			
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母	:性看護学[2] 母性	生看護学各論 医学書院		
テキスト						
/ 1 A I						

教育	内容	専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい		
1 -0 1114		母性看護学	2年次 単位			
授業	科目	母性援助論Ⅲ	1単位	 → 妊産褥婦および新生児に応じた看護	が展開できる能力	うを養う
担当	講師	宮崎 貴子 助産師臨床経験:10年以上 教育経験:5年以上	時間数 30時間			,
教	3	人々の健康上の課題に応じて、科学	色的根拠に基づい	た看護を展開できる基礎的能力を養う		
育目標	4	力を養う		を実践できるとともに、国際化の動向を		
际	5	住会の変化の方向性を埋解し、有調養う	要円職として目に	2啓発に励み、生涯にわたり看護を探求	し続ける姿勢を持	fつための基礎的能力を
	口	項目 母性看護における看護過程とは	口供の手港項印	内容 におけるウェルネスの視点とは	淮 关	廿∵株八·Ⅲマ
	1	野性有機におりの有機		レにおける看護過程	講義	基礎分野 心理学 人間関係論
	2	妊娠期・分娩期・産褥期 新生児期にある対象の 看護過程の展開	し、身体的・精	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある対象を理解 し、身体的・精神的・社会的側面を考え、情報を整理 し、看護計画を立案する		専門基礎分野 専門分野 I 看護学概論
			※「愛仁」家の事	例展開		日 選子
	3	妊娠期の看護過程の展開		変化・母性意識の形成・発展に注目し	講義	看護援助技術 I
	4		妊娠期に必要な(着帯・レオポルト	援助技術 <無診法·骨盤外計測)	演習	専門分野Ⅱ 母性看護学概論
	5		保健指導技術 妊娠期の生活 保健指導技術	指導(食事・両親学級) fの実際	演習	母性援助論 I 母性援助論 II
	6	分娩期の看護過程の展開	分娩期の生理的 て展開	変化・産婦と家族の心理状態に注目し	講義	統合分野
学習出	7		分娩期に必要な (疼痛緩和・胎盤		演習	
内容	8	新生児期の看護過程の展開	新生児期の胎外 養、養育環境に2	生活適応状態、生理的特徴、清潔、栄 主目して展開	講義	
	9•10		新生児期に必要 (新生児期のフィ 交換・寝衣交換・	ジカルアセスメント・身体計測・おむつ	演習	
	11	産褥期の看護過程の展開	産褥期の退行性 成、親役割行動!	変化, 進行性変化, 母乳育児, 愛着形 こ注目して展開	講義	
	12			カルアセスメント・悪露交換)	演習	
			保健指導技術□	産褥期の生活指導	演習	
	13•14	 	保健指導技術の	実際	ロールプレインク	
	15	終講試験	筆記試験			
評価方法	10	筆記試験(6割) 学習状況(4割)			l	1
ガ佐		但し、受験資格は履修規定、第9条	によるものとする			
テキスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性 ウェルネス看護診断にもとづく母性君	生看護学[2] 母性			

教育	内容	専門分野 II 精神看護学	時期	科目のねらい				
授業	科目	精神看護学概論	1年次 単位 1単位	── 人間の心の動きをライフサイクルから 応について学習し、こころの健康問題				
担当	講師	長嶺 洋子 看護師臨床経験:10年以上 教育経験:10年以上	時間数 30時間	ための、看護の役割について学ぶ 看護者としての自己理解を深めると。	要の役割について学ぶ ての自己理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を高める。 的安寧を保ち、安楽を促進する技術について理解する。			
	1	生命の尊厳と人権を守り、人々のう)多様な価値観を尊	重し、倫理的判断に基づいたヒューマン	ケアを実践する	ための豊かな人間性を養		
教育	2	人間を身体的・精神的・社会的/ 能力を養う	こ統合された存在とし	て捉え、環境との相互関係の中で、変	化しながら生活	する存在として理解できる		
目 標	3	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		・た看護を展開できる基礎的能力を養う				
	4	保健・医療・福祉チームの一員と 能力を養う	を踏まえて看護	を創造するための基礎的				
	口	項目	water of the care is a large	内容	教授法	関連科目		
	1	精神の健康と障害	日本の精神科医 精神科医療の=	殺問題とメンタルヘルス E療の現状 -ーズ	講義	基礎分野 心理学 人間関係論 文化社会学		
	2		精神障害の体影精神の健康とは精神障害のとら;		講義	専門基礎分野 解剖生理学Ⅳ 病態と治療Ⅲ		
	3	精神科看護におけるケア	患者-看護師関係 基本的なコミ	係について ュニケーション技法	講義			
	4		プロセスレコ・	ードによるコミュニケーションの振り返り	演習			
	5	心とは	人間の心のしく。 ① 人間の心	みとはたらき いの諸活動と防衛機制	講義	関係法規 I		
	6		② 心理テス	ŀ	講義演習	専門分野 I 看護学概論 共通看護技術 I		
学習	7		③ 危機介入	とストレス理論	講義	専門分野Ⅱ		
内 容	8		④ 自己概念	た役割	講義	成人看護学概論 老年看護学概論 小児看護学概論 母性看護学概論 精神援助論 I		
	9	関係の中の個人	全体としての家族 人間と集団の関	族 係と社会病理現象	講義			
	10 11	看護者としての自己理解	マインドフルネス	· ·	講義演習	精神援助論Ⅱ 精神援助論Ⅲ		
	12 13	精神的安寧を保つ援助	アロマセラピー ハーブの効フ アロマを用い	カ たハンドマッサージ 他	講義演習	統合分野		
	14		音楽療法音楽の効力と	七音楽療法の実際	講義演習			
	15	終講試験	筆記試験					
評価 方法		筆記試験(8割) 学習状況(2割 但し、受験資格は履修規定、第) 🗆		_1			
テキスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 系統看護学講座 専門分野Ⅱ						

L

±4. ±5.	- 1 - 1	専門分野Ⅱ	時期	科目のねらい		
教育	/]谷	精神看護学	2年次	_		
授業	科目	精神援助論 I	単位 1単位	主な精神疾患と障害の原因・症状・セー学ぶ	食査・治療、および	必要な法制度について
担当詞	溝師	杉林 稔 医師臨床経験:10年以上	時間数 30時間	精神障害と身体疾患をつなぐリエゾン	/看護について学	హ్
教育	2	 人間を身体的・精神的・社会的に糸 能力を養う	 統合された存在とし	 て捉え、環境との相互関係の中で、変化	としながら生活する	る存在として理解できる
目標	3	人々の健康上の課題に応じて、科	学的根拠に基づい	た看護を展開できる基礎的能力を養う		
	回	項目	18000077	内容	教授法	関連科目
	1	人間の心のはたらきと パーソナリティ	人間の心の諸活動 心のしくみと人格の発達		講義 DVD	基礎分野 心理学
	10	7. 77771	にもりしてもかとうで	v) 无连	DVD	人間関係論
		精神科で出会う人々	精神症状論と状態	態像		文化社会学
			精神障害の診断	と分類		
						専門基礎分野
		精神科での治療	精神科における			解剖生理学IV
			薬物療法·電気に 精神療法) (病態と治療Ⅲ 関係法規 I
			環境療法•社会療	療法		DO VIN LA ME I
						専門分野 I
	11	精神障害及び医療の歴史	精神医療の歴史	:欧米編	講義	看護学概論
			精神障害の歴史	:日本編	グループワーク	
	10	精神障害と法制度	精神科医療を支	こフル分	講義	専門分野Ⅱ
	12 13	有仲障舌と伝削及	① 精神保健		神 我	精神看護学概論 精神援助論Ⅱ
	10		②障害者基			精神援助論Ⅲ
			③ 障害者総	合支援法 など		
			精神障害者の生	活を支える法律と方法		
学習内	14	精神科以外での精神看護	身体疾患と精神障	造 害	講義	
容			身体疾患と精	神看護		
	15	終講試験	筆記試験			
評価 方法		筆記試験(10割)	マリァトフェ ホリ・上マ			
刀仏		但し、受験資格は履修規定、第99	たによるものとする			
		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精	神看護学[1] 精神	申看護の基礎 医学書院		
テキスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精				
ノイムト						

教育	内容	専門分野 Ⅱ 精神看護学	時期 3年次	科目のねらい		
授業	科目	精神援助論Ⅱ	単位 1単位	- 精神障害者を理解し、治療的人間限 -	関係を学び、精神	申疾患の症状に対する援
担当	講師	村井 隆二 看護師臨床経験:10年以上	時間数 30時間	-助を学ぶ 状態に応じて自立を支援出来るよう	な援助方法を学	<i>హ</i>
教育	1	上 生命の尊厳と人権を守り、人々の多 う	」 B様な価値観を尊重	」 し、倫理的判断に基づいたヒューマン	ノケアを実践する	ための豊かな人間性を
育目標	3			た看護を展開できる基礎的能力を養		› 소마스 노크호 가 소 박 제상시
155	4	保健・医療・福祉が一ムの一員とし 能力を養う 項目	(理病・励側し有護	を実践できるとともに、国際化の動向 内容	教授法	と制造するための基礎的 関連科目
	1	精神科看護とは	入院治療の特徴 入院環境	174	講義	基礎分野 心理学
	2	精神科における人間関係	ケアの人間関係			人間関係論 文化社会学
	4	治療的コミュニケーション	ケアの原則・方	自己理解・他者理解 ケアの原則・方法 コミュニケーション技術		専門基礎分野 解剖生理学Ⅳ 病態と治療Ⅲ 関係法規 I
			プロセスレコード <i>0</i> プロセスレコー	D活用 ドの実際、構成	演習	専門分野 I 看護学概論
	5	人権を守るということ	精神疾患を抱える	5人の人権を守るということ	講義	専門分野 II 精神看護学概論
	6	安全を守る	リスクマネジメントの 緊急事態に対処で		講義	精神援助論 I 精神援助論Ⅲ
学習内容	7 8	身体をケアする	精神科における身 身体にあらわれる 精神科の治療と身 日常から気を付け 精神科における身 睡眠と援助	こころの痛み }体のケア でおきたい身体合併症	講義	統合分野
	9	回復期における治療	精神科リハビリテー 退院支援	ーション	講義	
	10 \$ 14	症状・状態別看護	強迫性障害、双極 パーソナリティ障害	幻覚、妄想のある患者の看護 極性障害、攻撃的行動などの看護 害、多飲症、てんかん、混迷 もり状態にある患者の看護	講義	
	15	終講試験	筆記試験			
平価		筆記試験(10割)				
方法 - キ ネ キ ネ		但し、受験資格は履修規定、第9名 系統看護学講座 専門分野 II 精 系統看護学講座 専門分野 II 精	神看護学[1] 精神			

		市間 / Ι Ι Ι Ι	時期	利用のわたい						
教育	内容	専門分野Ⅱ 精神看護学	3年次	科目のねらい 						
授業	科目	精神援助論Ⅲ	単位 1単位	── 精神障害を持つ対象の状況に	ナット ギュサィ ロロコー	ひ.する 茶と				
担当	講師	長嶺 洋子 看護師臨床経験:10年以上 教育経験:10年以上								
教	1 3	j		重し、倫理的判断に基づいたヒュー いた看護を展開できる基礎的能力		上めの豊かな人間性を養				
育目	4	保健・医療・福祉チームの一員として連携・協働し看護を実践できるとともに、国際化の動向を踏まえて看護を創造するための基礎的								
標	5	能刀を養う 社会の恋化の方向性を理解 秀蓮専門聯レ で自己政際に励み 生涯にわたり秀蓮を探求 続ける次熱を持つための基礎的能力								
	п	項目		内容	教授法	関連科目				
	1	精神科における看護過程	オレム・アンダー	ウッドのセルフケア理論とは	講義	基礎分野				
	2	事例展開	情報収集アセス		グループワーク					
	5		セルフケアレベル	ル	グループワーク	文化社会学				
			サポートシステム	7		専門基礎分野				
			必要な援助		グループワーク					
	6		グループワーク	発表と意見交換	発表	病態と治療Ⅲ 関係法規 I				
	7	当事者の体験	当事者の体験:	アルコール依存症	演習	専門分野 I 看護学概論				
						専門分野Ⅱ 精神看護学概論 精神援助論 Ⅰ 精神援助論 Ⅱ				
学習内容										
		/4 **# 3 NITA	Andrews Nove							
評価	8	終講試験 筆記試験(5割) レポート(5割	筆記試験			<u> </u>				
方法		但し、受験資格は履修規定、第9	*							
テキスト		系統看護学講座 専門分野Ⅱ * 系統看護学講座 専門分野Ⅱ * 系統看護学講座 専門基礎分野	青神看護学[2] 精							